

# 平塚市文化振興指針を策定しました

この度、市民の自主的かつ主体的な文化活動を通して、より魅力ある平塚らしい文化を継承・発展・創造していくための新たな指針として「平塚市文化振興指針」を策定しました。

本市を舞台に、文化的活動を担う市民一人一人が輝いて、生きる力と潤いを実感し、学校、文化関係団体、NPO、企業、行政等の様々な主体と連携、協働しながら、地域文化の魅力や個性を創造していくこと、及びその表れを「ひらつか文化」とし、本市の文化振興の発展を目指します。

《**基本理念**》 人が輝く ひらつか文化の創造  
ふるさとひらつかを舞台に、ふれあい・伝えあい・結びあい、市民文化の創造・発信をします。

## 《5つの基本目標》

- ① ひらつか文化を担う人づくり
- ② アーティストの支援
- ③ ひらつか文化の場づくり
- ④ 文化のまちづくり
- ⑤ 文化を支える協働の仕組みづくり

## 《計画期間》

平成22年度から平成28年度

## 《計画の閲覧方法》

平塚市ウェブサイトから無料でダウンロードできます。  
市政情報コーナー、文化・交流課（市民センター）で閲覧できます。



平塚市ウェブサイトURL

<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/bunka/shishin.htm>

## 文化、スポーツ、そして まちづくりの新たなスタート



外郭団体の見直しや公益法人制度改革に控え、財団の自主性、自立性を高めつつ、将来にわたり公益の増進に寄与するため、平成22年4月1日から財団法人平塚市文化財団、財団法人平塚市スポーツ振興財団そして財団法人平塚市開発公社が統合して財団法人平塚市文化スポーツまちづくり振興財団が活動を始めています。

統合後の初年度となる平成22年度は、新たな理事や評議員の役員体制の下に、理事長、常務理事そして3課体制の事務局で事業を展開して行きます。事業については、これまでの事業を引き

### 財団法人 平塚市文化スポーツまちづくり振興財団

継ぐなかで文化とスポーツを組み合わせた事業も視野に入れ市民ニーズに応える事業を展開して行きます。

「事業を総合的に展開するという意識を財団全体で共有することが何よりも大切」を基本に事業に取り組むため、相互理解と協調する姿勢を醸成して行きます。

また、公益法人制度改革に対応するため、平成25年11月までに、公益財団法人認定の取得に向け、財団としてあるべき姿を視野に改革を進めるなど、大きな一歩を踏み出します。